

伊教委幼施第35号
平成29年9月12日

伊丹市幼児教育ビジョン策定委員会
会長 ト田 真一郎 様

伊丹市教育委員会



(仮称) 伊丹市幼児教育ビジョンの策定について (諮問)

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものであり、幼児は、遊びや集団生活といった直接体験を通して、よりよく生きる力を身につけていきます。社会の変化は加速度を増しており、予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子どもたちには、変化を前向きに受け止め、未来を切り開いていく資質や能力が求められます。

また近年、幼児期に忍耐力や自制心、自尊心、協調性といった非認知的能力を養うことが、その後の人生を大きく左右するといった研究も示され、世界的に幼児教育の重要性への認識が高まっています。

このような中、平成30年度から施行される幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を受けて、すべての就学前施設において、同様の教育・保育の質が担保されるとともに、小学校教育との接続についても重視されることになっています。

本市におきましては設置者を問わず、就学前の教育・保育に携わるすべての幼稚園、保育所、認定こども園において、さらには家庭や地域住民が一体となって、豊かな自然や遊びを通して、幼児期にあるすべての子どもたちが健やかに成長できるよう環境を整えていくことが重要と認識しています。

そこで、新幼稚園教育要領等に示す「幼児教育において育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、本市の自然や文化、市民力などのポテンシャルをいかしながら、伊丹で育った子どもとしてのアイデンティティを育んでいきたいと考えています。

これらのことから、伊丹市としての幼児教育理念と育てたい子ども像等について定める幼児教育ビジョンを策定するにあたり、下記のとおり諮問します。

記

1. 育てたい子ども像と基本理念について
2. 質の高い幼児教育について

以上